

経済特化のニュースサービスで世界進出

ユーザベース 新野 良介社長、梅田 優祐社長

企画書や報告書などを作成する際に経済情報を調べるには膨大な時間を要する。経済に特化した情報プラットフォームの必要性を強く感じていた新野良介、梅田優祐の両社長は2008年、ユーザベースを立ち上げ、今年10月に東証マザーズ上場を果たした。同社は「経済情報のゲグルル」を目指し、世界進出を視野に事業を進める。

—BtoB（企業間取引）向け情報プラットフォーム事業が売上高の7割を占めている

新野 「金融機関や事業会社向けに経済情報を提供する『SPEEDA』（スピーダ）は世界200カ国、380万社以上の財務、株価データ、地域別の分析レポートのほか、統計データ、経済ニュース、M&A（企業の合併・買収）情報を網羅している。同様の既存サービスと比べて説明書が必要なく、直観的な操作で情報にアクセスでき、使い勝手がよい」

—BtoC（企業対消費者間取引）向けのニュースサービスも運営している

梅田 「スマートフォンに特



梅田優祐社長（左）、新野良介社長（右）

化した『NewsPicks』（ニュースピックス）は90以上のメディアの経済ニュースを読むことができる。自社編集部のオリジナルコンテンツも配信している。経済情報に特化し、メディアとSNS（会員制交流サイト）を組み合わせて、有名アナリストら、多くの専門家がコメントを寄せている。このためニュースを多面的に理解できることが特徴だ」

—業績は

梅田 「スピーダの海外展開とニュースピックスの立ち上げ

に投資したため、営業損益が13年12月期から赤字になったが、今期は通年で黒字化する見込みだ。スピーダは、しっかり利益を生み出す高収益事業になった。ニュースピックスは、ようやく黒字化の見通しが立ってき

たところだ」

—社長は2人体制だが、意思疎通に問題はないのか

新野 「創業時からわれわれ2人に加え、稲垣裕介最高執行責任者（COO）を加えた3人の創業メンバーで役割分担を明確

いこの・りょうすけ 慶大経卒。2002年三井物産入社。UBS証券を経て、08年9月ユーザベースに入社し、現職。39歳。群馬県出身。

うめた・ゆうすけ 横国大経営卒。2004年コーポレートディレクション入社。UBS証券を経て、08年4月にユーザベースを設立し、現職。35歳。愛知県出身。

にして、最適な業務遂行をしている。1人だとカバーできる範囲は限られるが、分担することで経営のスピードが上がる。何でも話し合うが、これまで物事が決まらず、会社が動かないということはなかった」

—ミッションに「経済情報で世界をかえる」を掲げている

新野 「スピーダは経済情報に特化したデータベースで国内トップクラスのシェアを得ている。次は世界市場でアジア情報に特化した経済データベースとしてナンバーワンを目指す。将来、欧米に進出する場合、アジア情報が充実していることは、明確な差別化のポイントになる。一方のニュースピックスは米国進出に向けて、準備に入っている」

■会社概要

▷本社—東京都渋谷区恵比寿1-18-14

恵比寿ファーストスクエア10階

▷設立—2008年4月

▷資本金—25億6000万円

▷従業員—178人（16年8月末時点）

▷売上高—30億4500万円（16年12月期見込み）

▷事業内容—法人向け企業・業界情報プラットフォーム、経済ニュースプラットフォーム